

# 川島町立小中学校の施設概要及び耐震化の取組状況

平成28年11月25日現在

学校名	施設の概要							構造体の耐震化の取組み				非構造部材耐震化の取組み																
	棟番号	建物区分	建築年月日	面積(m <sup>2</sup> )	階	構造	避難所指定	構造体の耐震診断実施年度	診断結果IS値	構造体の耐震補強年度	補強後IS値	非構造部材の点検年度	非構造部材耐震化の実施	工事契約金額(円・税込)	契約日	完了日	主な工事内容											
																	ガラス改修(普通→強化) (m <sup>2</sup> )	ガラス飛散防止フィルム貼 (m <sup>2</sup> )	照明交換(白熱→LED) (台)	コンクリートブロック壁改修 (m <sup>2</sup> )	天井補強 (m <sup>2</sup> )	柵、家具固定 (カ所)	エアコン転倒落下防止 (カ所)	ピアノ耐震化 (カ所)	タイル改修 (m <sup>2</sup> )	サッシ廻りシーリング補修 (m)	クラック改修 (m)	屋根漏水補修 (箇所)
中山小学校	10-1	校舎	昭和53年12月	960	3	R	有	H9	0.64	H11	0.81	H24	済	17,172,000	平成26年4月28日	平成26年9月25日	952	143	-	32	-	126	8	1	6	-	-	-
	10-2	校舎	昭和53年12月	1,883	3	R	有	H9	0.64	H11	0.81																	
	11-1	校舎	昭和53年12月	847	1	R	有	H9	0.43	H11	0.80																	
	14	校舎	昭和58年2月	544	3	R	有	- (新耐震基準)	-	-	-																	
	12-1	校舎	平成3年3月	389	2	R	有	- (新耐震基準)	-	-	-																	
	11-2	体育館	昭和53年12月	1,019	2	R	有	H9	0.43	H11	0.80																	
伊草小学校	10	校舎	平成17年12月	4,218	3	R	有	- (新耐震基準)	-	-	-	H24	済	10,692,000	平成26年4月28日	平成26年9月25日	42	-	-	41	699	122	4	2	-	-	21	22
	11	体育館	平成19年3月	902	1	R	有	- (新耐震基準)	-	-	-	H24	済	546,000	平成25年4月30日	平成25年9月26日	-	-	-	-	96	4	-	1	-	-	-	-
三保谷小学校	1-1	校舎	昭和43年3月	1,088	2	R	有	H11	0.26	H13	0.76	H24	済	11,225,000	平成27年6月19日	平成27年9月29日	266	153	-	57	-	17	5	-	-	-	2	-
	1-2	校舎	昭和43年4月	488	2	R	有	H11	0.26	H13	0.76																	
	1-3	校舎	平成元年3月	109	2	R	有	- (新耐震基準)	-	-	-																	
	9	体育館	昭和55年3月	733	1	S	有	H11	0.31	H13	0.85																	
出丸小学校	1-1	校舎	昭和51年3月	605	3	R	有	H8	0.25	H8	0.77	H24	済	12,967,000	平成27年6月19日	平成27年9月29日	341	160	-	37	-	44	5	1	8	-	-	-
	1-2	校舎	昭和51年6月	1,318	3	R	有	H8	0.25	H8	0.77																	
	4	体育館	昭和54年2月	761	1	S	有	H17	0.31	H18	0.98																	
八ツ保小学校	1-1	校舎	昭和45年3月	1,111	2	R	有	H11	0.29	H13	0.76	H24	済	8,051,000	平成27年7月10日	平成27年10月7日	142	77	-	41	-	37	4	1	0	-	-	-
	1-2	校舎	昭和45年4月	493	2	R	有	H11	0.29	H13	0.76																	
	1-3	校舎	昭和61年9月	102	2	R	有	- (新耐震基準)	-	-	-																	
	7	体育館	昭和55年12月	733	1	S	有	H11	0.32	H13	0.85																	
小見野小学校	1	校舎	昭和47年4月	1,648	2	R	有	H13	0.85	-	-	H24	済	11,782,120	平成27年7月10日	平成27年10月7日	279	76	-	50	-	58	5	1	-	-	-	-
	7	校舎	平成20年10月	132	2	W	有	-	-	-	-																	
	8	校舎	平成20年10月	83	1	W	有	-	-	-	-																	
	6	体育館	昭和57年1月	740	1	S	有	- (新耐震基準)	-	-	-																	
川島中学校	19	校舎	平成8年2月	3,243	3	R	有	- (新耐震基準)	-	-	-	H24	済	29,376,000	平成27年6月19日	平成27年9月29日	906	376	-	-	164	176	3	2	-	-	-	-
	20	校舎	平成8年2月	2,636	3	R	有	- (新耐震基準)	-	-	-																	
	21	校舎	平成8年2月	62	1	R	有	- (新耐震基準)	-	-	-																	
	11-1	体育館	昭和61年2月	1,269	2	S	有	- (新耐震基準)	-	-	-																	
	11-2	クラブハウス	昭和61年2月	218	2	S	有	- (新耐震基準)	-	-	-																	
西中学校	1	校舎	平成5年3月	6,656	3	R	有	- (新耐震基準)	-	-	-	H24	済	31,212,000	平成28年5月25日	平成28年9月30日	1,109	446	-	19	-	273	1	2	-	-	-	
	2-1	体育館武道場	平成5年3月	2,371	2	R	有	- (新耐震基準)	-	-	-	H24	済	6,090,000	平成25年4月30日	平成25年9月26日	185	152	-	33	-	13	1	1	-	-	-	
	2-2	クラブハウス	平成5年3月	245	2	R	有	- (新耐震基準)	-	-	-	H24	済				19	12	-	-	-	3	-	-	-	-	-	

★ 補足

「棟番号」 学校ごとに付せられた建物の整理番号

「構造」 Rは「鉄筋コンクリート造」、Sは「鉄骨造」

「構造体」 構造設計・構造計算の対象となる建物の骨組み。柱、梁、床、壁など

「耐震診断」 耐震診断は、新耐震基準(昭和56年以前)施工前の建物について、地震に対する安全性を構造力学上で診断するもので、診断の結果、構造耐震指標(Is値)が0.6未満の場合、『地震振動及び衝撃に対して倒壊または崩壊の恐れがあるとされています。

なお、木造以外の校舎等で平屋建てかつ床面積の合計が200㎡以下のもの、ならびに木造の校舎で2階建て以下かつ床面積が500㎡以下のものについては、耐震診断の必要はありません。

「新耐震基準」 大地震の被害状況を踏まえ、従来の設計方法に加え、大規模な地震(震度6程度の地震)時に建物の倒壊により人命被害が生じないことを目標として新たに耐震設計法が定められたもので、昭和56年の建築基準法施行令の改正による基準です。

「Is値」 構造耐震指標(Is値)は、建物の構造的な耐震性能を評価する指標で、Is値が大きいほど耐震性が高いとされており、0.6以上で大規模な地震に対して、倒壊または崩壊する危険性が低いとされています。耐震改修促進法では、Is値が0.6未満の学校施設等の耐震改修施工の努力義務が課せられます。

また、文部科学省は学校施設では、児童生徒の安全性を特に考慮し、0.7以上に補強するとされています。

「非構造部材」 構造計算の対象となるいわゆる構造体(柱・梁・基礎などの骨組み)と区別した部材。天井材、外・内装材、照明器具、ガラス、家具など